

人権学習展開例〔第2学年〕

1 主 題 トラブルの解決方法について考える

2 教材名

15 なんといいたらいいかな



3 主題・教材について

日常生活において、子どもたちの間で様々なトラブルが生じることがある。その際、感情的に発した言葉が相手を深く傷つけたり、自分の気持ちをうまく伝えることができずにトラブルが拡大してしまったりすることがある。あるいは、どちらか一方が黙って辛抱してしまうこともある。

この教材では、ロールプレイをすることより、自分が発する言葉が、相手にどのように受け止められるのかを実感することを通して、相手を攻撃することなく自分の気持ちを伝える方法（アサーティブネス、非攻撃的自己主張）を身につけさせたい。

なお、学級で子ども同士の力関係が固定している場合、弱い立場の子どもが強い立場の子どもに向かって言葉を発するには、大きな力が必要となる。したがって、そうした場合には、教師が子どもたちの関係を的確にとらえ、参加型の学習だけでなく、一人一人をエンパワーしていく取組も併せて必要となる。

（関連領域：道徳）

4 ねらい

- ・自分が発する言葉の力に気づき、相手を尊重する話し方を考える。
- ・アサーティブネス（非攻撃的自己主張）のスキルを身につける。

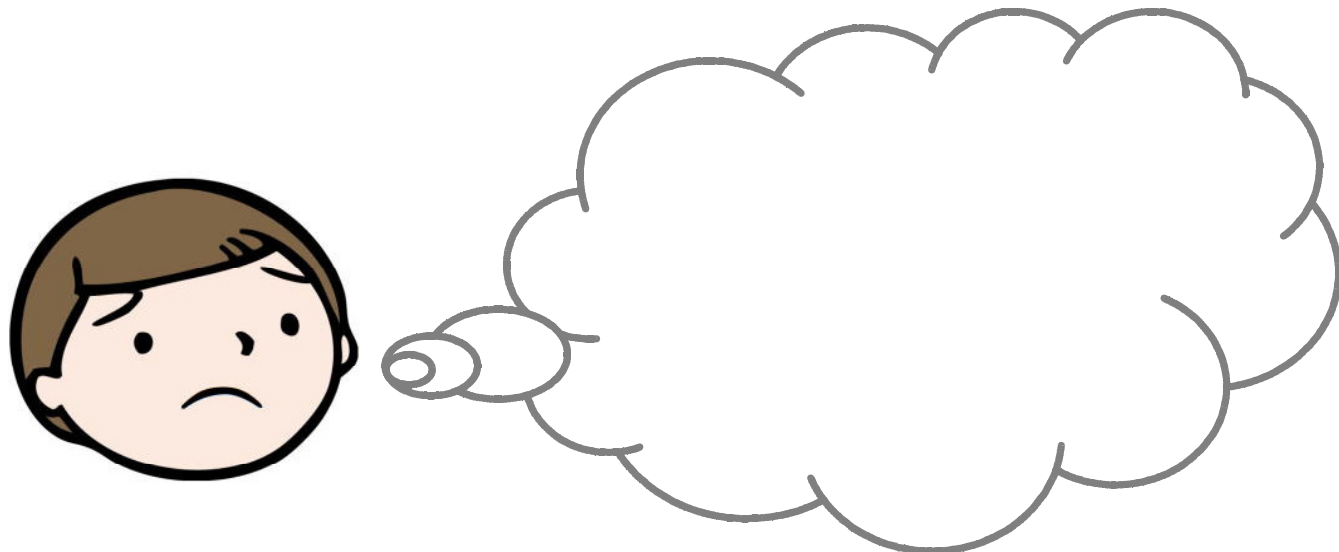
5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・これまでの生活の中で、トラブルになったことを思い出す。 ・この学習のねらいを知る。	・もめごとが起こって困ったことがなかったかを思い出させる。	
展開	「なんといったらいいかな」を読みましょう。		ワークシート
	・教材「なんといったらいいかな」を読む。 ・イラストを注意深く見て、気づいたことを発表する。	・人物の表情に注目させる。	
	さとしさんの気持ちを考えてみよう。		
開	・さとしさんはどんな気持ちになっているか想像し、ワークシートに記入する。	・似たような場面を思い出させて、想像させるのもよい。	
	さとしさんは、ひかるさんになんといったらいいか考えてみよう。		
	・ひかるさんの気持ちを考え、なぜ、わりこんだのかを理解する。 ・相手の気持ちを踏まえて、どんな言葉を返すのかを考え、ワークシートに記入する。	・表情から、ひかるさんの気持ちを読み取らせる。 ・相手がどんな気持ちでいるのかを考えないと自分の気持ちを伝える言葉を選べないことに気づかせる。	

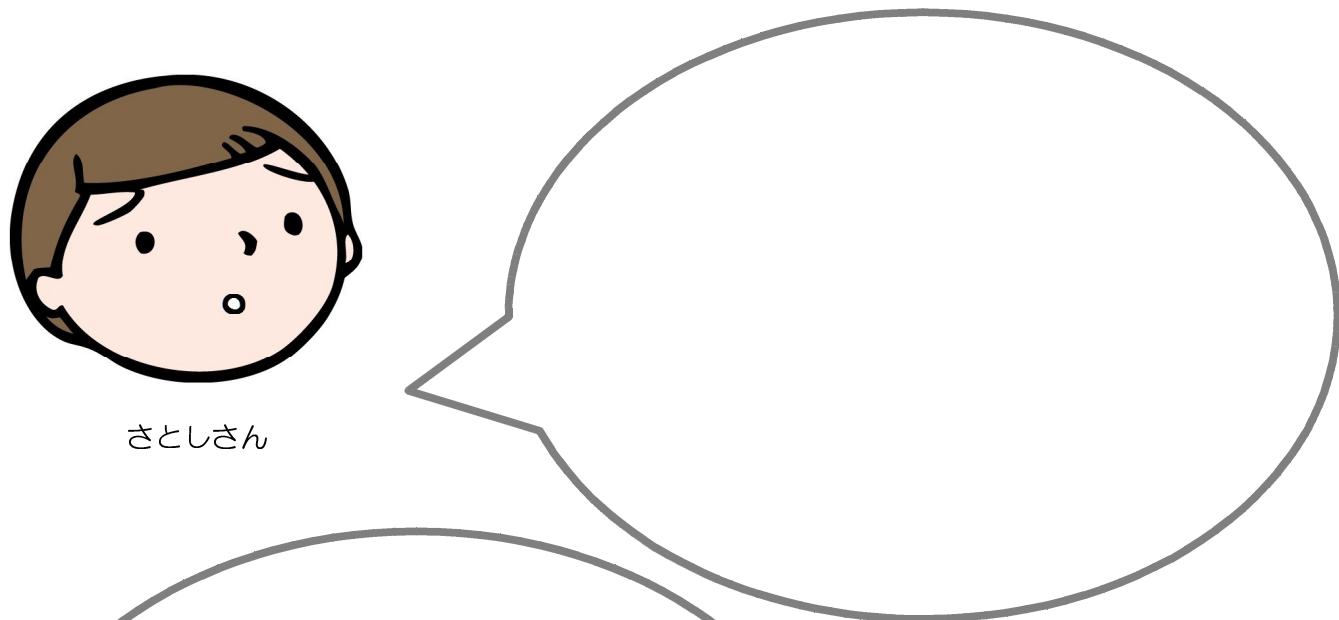
展 開	ロールプレイをしてみよう	
	・ロールプレイを行う。 ・自分の言葉が相手にどのように受け取られたのかを知る。	・ロールプレイを行わせ、相手の言葉をどのように感じたかを相手に伝えさせる。 ・合図を決め、ロールプレイの開始と終了を明確にする。
開	自分の願いをうまく伝えるにはどうしたらよいでしょう。	
	・ロールプレイを行って、気づいたことを発表する。 ・さとしさんはひかるさんになんと言ったらいいか、改めて考える。	・ロールプレイの様子を踏まえ、気持ちや願いを伝える方法を伝える。 ①相手の気持ちを考える ②こうしてほしいという自分の願いを整理して、相手に伝える
ま と め	学習をふり返ろう。	
	・学習を通して学んだことや感じたことをふり返り、発表し合う。	・どのように願いを伝えていくかは、これからの生活の場面における、全員の課題としていく。

【ワークシート】

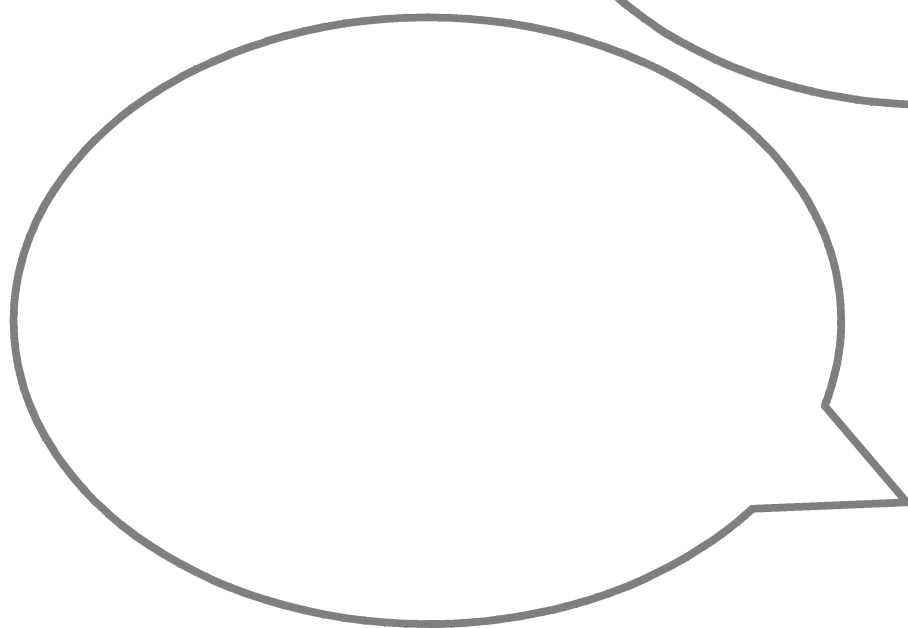
さとしさんは どんな^き気持ちでしょうか。



さとしさんは ひかるさんに なんといったら いいでしょうか。



さとしさん



ひかるさん